

2020年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ スラブ・ユーラシア学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>本問題は、「北東アジア地域」、「第二次世界大戦の歴史認識」、「地域研究」、「文化的特性」、「都市と農村」といった切り口から、スラブ・ユーラシア地域（地域全体または特定の国家や地方）を論じさせ、スラブ・ユーラシア地域研究の分野での専門的知識を確認すると共に、理解度や論理的に記述する能力などを評価しようとするものである。また、自分が研究対象として関心を持つ国・地域・時代・分野について簡潔に論じ、自らの問題意識を明確に示すことが求められる。</p>

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） スラブ・ユーラシア学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題1枚、解答用紙4枚を配付する。

解答用紙は1問につき2枚以内を使用し、各用紙の冒頭に選んだ問題の番号を記すこと。

次の設問(1)～(5)のうち任意の2問を選んで解答しなさい。

なお問題文中の「スラブ・ユーラシア」は旧ソ連・東欧地域を意味する。解答はこの地域全体を論じてよいし、この地域の特定の国家や地方に限定して論じてよい。

- (1) 近年の北東アジア地域におけるロシアの立ち位置について論じなさい。
- (2) スラブ・ユーラシアにおける第二次世界大戦に関する歴史認識を論じなさい。
- (3) スラブ・ユーラシアに固有の文化的特性は存在するか。具体的な例と根拠を挙げながら論じなさい。なお特定の時代に限定して論じてよい。
- (4) 地域研究的なアプローチの有用性と課題について、スラブ・ユーラシアを題材にして論じなさい。
- (5) スラブ・ユーラシアにおける20世紀を農村と都市との関係から論じなさい。